

○日本人学校における外国語教育の実施状況
 (1) 教科等における外国語教育(教育指導要領外)

(平成18年4月15日現在)

内 容	学校数	割合	指導目標等(例)
小学英語(英会話、英語に親しむ活動等を含む。)	80	94.1%	日本人学校によって、英語に親しみ慣れることから日常会話の習得まで、目標は異なる。 講師の多くは外国人講師(現地在留外国人)が担当している。外国人講師と派遣教員のTTも行われている。
うち、小学部第1学年・第2学年で実施	67	78.8%	[英会話:週1.5h:現地英語教師] 英語に親しむとともに、英語の基礎と簡単な会話を能力を習得させる。 [英会話:週1h:現地人講師] 日常生活に必要な会話の習得と国際交流に必要なコミュニケーション能力の育成する。
うち、小学部第3学年・第4学年で実施	78	91.8%	[英会話:週1h:派遣教員] 英会話を学びながら、英語圏の文化等にふれる。 [英会話:週4h:現地在留邦人 外国人講師] 英会話に興味を持ち、慣れ親しむとともに簡単な英会話ができること。
うち、小学部第5学年・第6学年で実施	80	94.1%	[英会話:週2h:在留外国人講師 派遣教員] 英語を使って、会話を楽しむ。 [英会話:週3h:在留外国人講師 派遣教員] 日常会話を習得する。第二言語としての定着を図る。
英会話等(中学部)	72	84.7%	[English:週2h:外国人講師 派遣教員] 話す・聞く・読む・書くを総合的に実施 [英会話:週2h:外国人講師 派遣教員] 英語検定2級取得(中学部)
イマージョン	5	5.9%	[音楽:小1~小6:週1h:外国人講師] 英語圏の音楽を対象に歌ったり、身体表現をしたりする。英語の発音に慣れると共に英語による表現力を高める。 [図画工作:小3~小6:週2h:外国人講師] 英語イマージョン教育として、英語に浸らせる。
現地語(非英語)	59	69.4%	現地文化を理解するために基礎的な現地語について学び、日常生活に活用できるようにする。
うち、小学部で実施	56	65.9%	[現地語:小1~小6:週2h:外国人講師] 現地語に親しみ、簡単な現地語による会話ができる。 [現地語:小1~小6:週1h:外国人講師] 小学部低学年:自分の気持ちを表現でき、言葉をまねる。挨拶ができる。中学年:現地語会話に慣れ親しむ。高学年:外国語を使うという態度を身につける。
うち、中学部で実施	51	60.0%	[現地語:週2h:外国人講師] 日常会話程度の習得から、第二言語として定着させるまで等、コースにより目標が異なる。 [現地語:週1h:外国人講師] 簡単な日常会話習得程度

※ 学校数は延べ数である。

(2) 使用教材 (平成18年4月15日現在)

自主作成教材	56	65.9%
現地市販教材	60	70.6%
その他	2	2.4%
上記の教材を複数使用	33	38.8%

※ 学校数は延べ数である。